

村民ボランティアの皆さんと 学園1年生がだんごさし



「いいたて学」の一環となる活動です。村の皆さんと触れ合いながら、伝統行事を体験しました。

1月13日、いいたて希望の里学園で、1年生が「だんごさし」を行いました。活動には、村民ボランティアとして、村老人クラブ連合会の皆さんが協力しました。子どもたちは、行事の意味を教わりながら、村民ボランティアと共に、今年の豊作を祈願する赤・青・黄・白色などのだんごをつくりました。

いよいよ仕上げの飾り付け。子どもたちは、たくさんのだんごを、根気よく楽しそうにミズキの枝にさしました。完成しただんごさしは、玄関、校長室、廊下などに飾られ、校内を美しく彩りました。

戸田建設株式会社から 絵本が寄贈されました

12月21日、までのりの里のこども園に、戸田建設株式会社東北支店から74冊の絵本が寄贈されました。贈呈式には3歳以上児のそら組・つき組・たいよう組が参加し、そら組の代表園児が「絵本をたくさん贈っていただきありがとうございます。いっぱい読みたいと思います」とお礼のあいさつをし、感謝を伝えました。式の後、園児たちはさっそく興味のある絵本を手に取り、夢中で読んだり、お友だちと楽しんだり、目をキラキラ輝かせながら絵本と触れ合いました。



学級ごとに絵本を楽しむ園児たち。絵本が大好きな子どもたちへの素敵なプレゼントとなりました。

第69回文化財防火デー 善應寺で防火訓練を実施



1月26日の『文化財防火デー』を前に行われた訓練。写真は善應寺の屋根に向けた一斉放水訓練の場面。

1月22日、善應寺(飯樋町)で『文化財防火デー 消防訓練』を実施しました。今回の訓練には、善應寺、村教育委員会、村文化財保護審議会、村消防団、役場消防隊、南相馬消防署飯館分署が参加。善應寺の庫裡からの火災発生を想定し、善應寺関係者による初期消火・避難誘導・重要物品の搬送訓練と、消防団・役場消防隊・飯館分署による一斉放水訓練を行いました。昭和30年から続く『文化財防火デー』。訓練を通して、村の文化財に対する理解と認識を深め、防火の意識を高めました。

令和5年消防出初式 決意新たに消防活動を開始

1月8日、いいたて希望の里学園の体育館で、令和5年飯館村消防出初式が行われ、村の消防団、女性消防隊、役場消防隊ら合わせて87人が参加しました。

式では、杉岡村長が、「信頼と期待に応え、貴い人命と貴重な財産を守る重責を担っていただいていることに、村民を代表して心から感謝申し上げます」と述べ、献身的な取り組みに感謝を伝え一同を激励しました。また、式の後には、永年勤続の表彰も行われました。



体育館で行われた出初式。消防団員が隊列を組み、杉岡村長、赤石澤傳団長(飯樋町)らが観閲しました。

今年もイイタネちゃんに たくさんの年賀状が届きました



デジタル化が進む時代ですが、手書きの年賀状に心があたたまりますね。イイタネちゃんも大喜びです。

飯館村公式キャラクター「イイタネちゃん」に、全国各地・幅広い年代の方々から今年も年賀状が届きました。1月20日までに届いた年賀状は60通。1つひとつの年賀状に、心の込もった応援メッセージが書かれており、イイタネちゃんを応援してくれている方がたくさんいることが、年賀状から伝わります。

イイタネちゃんもすべての年賀状にじっくりと目を通し、心を込めてお返事を出しました。日頃からイイタネちゃんを応援してくださっている方々、本当にありがとうございます。

までのりの里のこども園 みんなで手づくり「だんごさし」

1月13日、までのりの里のこども園で、小正月の伝統行事「だんごさし」が行われました。だんごづくりはそれぞれの学級で行い、小さな手のひらでコロコロと、たくさんのだんごをつくりました。続いて、大きな鍋でゆでる様子もみんな観察。完成したカラフルのだんごをホールに飾り、美しいだんごさしを完成させました。



「ミズキの木が明るくなるね」と話しながら、小さな手で一生懸命だんごさしを行いました。